

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 財団法人 海外日系人協会

1 事業の趣旨・目的

当協会が行う各種事業は、その特性から、多くの在日日系人と関係があるが、当該日系人の中には日本語能力が高い者がいる。また、平成 16 年度より開設した、地域の日系就労者を対象とする「みなとみらい日本語教室」においては、受講期間中に日本語能力を日本語指導者としての育成対象レベルまで高めた卒業生が数名いる。

日本語教室受講生の母語を理解し、日本語能力も高い、これらの日系人を中心に、「日本語指導者養成」事業によって日本語指導者を養成し、その後、養成した日本語指導者を日本語教室の講師として活用することによって、受講生の日本語学習を推進し、学習効果を図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
10月31日	熊井美穂子 重松美知子 武田知子 中元司郎 水上貴雄 中井扶美子	<ul style="list-style-type: none">進捗状況の確認日系人講師の活用の仕方	<ul style="list-style-type: none">日系人講師・見学者の補助が学習者の理解に役立っているようだ。指導するときに自信のなさそうな日系人講師がいたが、こういった日系人講師にはクラスの一部を担当させるよりも現時点ではアシスタントとして受講生のフォローにあたらせるのが限界。
11月7日	熊井美穂子 重松美知子 中元司郎 水上貴雄 中井扶美子	<ul style="list-style-type: none">進捗状況の確認日系人講師の活用の仕方	<ul style="list-style-type: none">日本語教育の素養のある日系人講師には高度な内容をまかせるべき。現在使用しているテキストの内容で、日系人講

			師が指導するにふさわしい部分を選んでおく。
--	--	--	-----------------------

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称
みなとみらい日本語教室
- ② 開催場所
JICA横浜内セミナールーム(横浜市中区)
- ③ 学習目標
 - ・日本で生活する上で必要とされるレベルの日本語能力を身につける。
 - ・会話表現を身につけ、周囲の日本人とのコミュニケーションを円滑にする。
- ④ 使用した教材・リソース
 - ・にほんごみらい1
 - ・ひらがなれんしゅうノート、かたかなれんしゅうノート
- ⑤ 受講者の募集方法
 - ・インターナショナルプレス紙(スペイン語版)に募集広告を掲載。
 - ・募集リーフレットを関係各所に配布。
 - ・当協会ホームページにより募集広報を行った。
- ⑥ 受講者の総数 13 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 30 時間 (全 12 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	9月5日	2.5時間	13人	ペルー国・スペイン語（6人） ブラジル国・ポルトガル語（5人） アルゼンチン国・スペイン語（2人）	教授者1人	使用教科書「にほんごみらい1」 プレースメントテスト 第6課「おめでとうございます」 授受表現
②	9月12日	2.5時間	13人	ペルー国・スペイン語（8人） ブラジル国・ポルトガル語（3人） アルゼンチン国・スペイン語（2人）	教授者1人	第7課「どんなひとですか？」① 形容詞・性格を表す語彙・表現 促音
③	9月19日	2.5時間	11人	ペルー国・スペイン語（4人） ブラジル国・ポルトガル語（5人） アルゼンチン国・スペイン語（2人）	教授者1人	第7課「どんなひとですか？」② 形容詞+そうです 促音・拗音
④	9月26日	2.5時間	13人	ペルー国・スペイン語（6人） ブラジル国・ポルトガル語（5人） アルゼンチン国・スペイン語（2人）	教授者1人 補助者1人	第8課「いっしょにいきませんか」① 勧誘・断りの表現 拗音聞き取り
⑤	10月3日	2.5時間	12人	ペルー国・スペイン語（5人） ブラジル国・ポルトガル語（5人） アルゼンチン国・スペイン語（2人）	教授者1人 補助者1人	第8課「いっしょにいきませんか」② 勧誘・断りの表現 拗音・長音+動詞

⑥	10月10日	2.5時間	10人	ペルー国・スペイン語 (6人) ブラジル国・ポルトガル語 (4人)	教授者1人 補助者1人	第9課「わたしのくにでは…」① 国の文化の紹介表現 拗音・濁音
⑦	10月17日	2.5時間	11人	ペルー国・スペイン語 (6人) ブラジル国・ポルトガル語 (3人) アルゼンチン国・スペイン語 (2人)	教授者1人	第9課「わたしのくにでは…」② ～ながら～する ひらがなの復習
⑧	10月31日	2.5時間	11人	ペルー国・スペイン語 (5人) ブラジル国・ポルトガル語 (4人) アルゼンチン国・スペイン語 (2人)	教授者1人 補助者1人	第9課「わたしのくにでは…」③ ～たり、～たりします 自分の国についての作文 カタカナ
⑨	11月7日	2.5時間	11人	ペルー国・スペイン語 (5人) ブラジル国・ポルトガル語 (4人) アルゼンチン国・スペイン語 (2人)	教授者1人	第10課「こどものとき…」① ～のとき カタカナ
⑩	11月14日	2.5時間	6人	ペルー国・スペイン語 (3人) ブラジル国・ポルトガル語 (2人) アルゼンチン国・スペイン語 (1人)	教授者1人 補助者1人	第10課「こどものとき…」② ～したい、たかった カタカナ
⑪	11月21日	2.5時間	9人	ペルー国・スペイン語 (5人) ブラジル国・ポルトガル語 (2人) アルゼンチン国・スペイン語 (2人)	教授者1人	第10課「こどものとき…」③ 自分のことについての短いスピーチ カタカナ

⑫	11月28日	2.5時間	10人	ペルー国・スペイン語 (4人) ブラジル国・ポルトガル語 (4人) アルゼンチン国・スペイン語 (2人)	教授者1人	第6課～10課の復習・まとめ
---	--------	-------	-----	--	-------	----------------

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
犬丸ルセリア由美	ポルトガル語(ブラジル国)	3年	1回	授業補助・通訳
山本アケミ	ポルトガル語(ブラジル国)	15年	1回	授業補助・通訳
板橋ルシア	スペイン語(ペルー国)	17年	1回	授業補助・通訳
屋良ナジ	スペイン語(ペルー国)	7.5年	1回	授業補助・通訳
レイディ コトリナ	スペイン語(ペルー国)	10年	1回	授業補助・通訳

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

日常生活でよく遭遇する場面に即したテキストを使用し、生活に密着した基礎的な日本語会話はおおよそ習得できたものと思われる。

今期から学習を始めた学習者と、5月から学習を続けている学習者が混在しており、レベル差が心配されたが、母語に訳した語彙リストや自習用プリントを適宜配布し、また、日系人講師や日系人見学者による翻訳・補助により、当初目標はおおむね達成できたものと思われる。

② 学習者の習得状況

コース終了後のアチーブメントテストでは、プレースメントテストの成績よりかなりの伸びが見られたが、まだ入門レベルの基礎的な語彙や接続の法則が定着していない部分もあった。復習プリントや学習項目の自習、また、学習者の日本語使用状況により今後のさらなる習得が期待される。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

本教室では、「日系人日本語指導者養成」で講座を受講した日系人を見学者または講義補助者として活用した。見学者として参加した日系人も、適宜通訳などの手伝いを自主的に行い、初級前半レベルにある学習者、また、今期からクラスに加わった入門期の学習者の不安感を取り除くことができた。また、単語や授業中の指示に対する通訳を行うことで、学習者の日本語理解が促進され、授業の効率化も図ることができた。

見学または講義補助を行った日系人においても、学習者から出される質問、語彙の選び方、クラスの流れなどを知ることができ、養成講座の内容理解にも役立った。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

早稲田大学教育学科の学生など見学者の受入を行い、生活者に対する日本語教育の現場についての理解を促進させることができた。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

本教室を実習の場として講義補助をした日系人講師は、8月の講師養成講座に参加した、日本語能力の高い者とした。1回目の出席時は見学し、その後、日本人講師が講義補助部分の事前指導を行う。2回目は講義補助を行い、授業後の反省会で質疑応答を行う。

b. 今後の課題

8月の4回の講座を受けただけでは実習できる部分が限られた。

また、日系人講師の日本語能力の差、教師としての素養の有無により、実習内容を変える必要がある。日本語能力の比較的低い日系人講師は、活用を間違える、発音が正しくないなどの場面が見られたが、逆に日本語能力の高い者には難しい内容(一部教案作成、適切な例文を考えてもらう、代入練習、キュー出しなど)にチャレンジさせること

が能力の向上につながる。日系人講師の能力を事前に十分把握し、個々のレベルに合った実習内容とするため、個別に講師とのコミュニケーションの時間を多くとる必要がある。

c. 今後の活動予定, 展望

みなとみらい日本語教室については、自主事業で次年度も継続予定である。今回参加した日系人講師が見学・補助を希望する場合は受け入れ、活用していきたい。

⑥その他参考資料

別添1. インターナショナルプレス紙(スペイン語版)に募集広告を掲載。

別添2. 募集リーフレット

別添3. 当協会ホームページでの募集広報

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。